

# 箱根湯本温泉 吉池旅館

Hakone Yumoto Onsen Yoshiike Ryokan  
(神奈川県箱根町)



関東に住んでいながら、一度も箱根に行ったことがなかったが、今回取材をする機会に恵まれた。新宿から小田急のロマンスカーに乗り、箱根湯本駅で登山鉄道に乗り換える。急カーブ、急坂、トンネル、橋梁、スイッチバックなど、鉄道ファンにはたまらない濃度の高い鉄道の旅を味わえた。その後はケーブルカー、ゴンドラ、海賊船、バスなどを乗り継ぎ、大涌谷、芦ノ湖、箱根神社を1日かけて堪能。箱根湯本に戻り、今回紹介する吉池旅館にチェックインした。

吉池旅館は箱根湯本駅から徒歩圏内にある老舗ホテルだ。向かい側には酒屋があるので、部屋飲み用の地酒を確保するのは問題ない。箱根湯本駅周辺の土産物屋で、名物の練り物、煎餅等のつまみも調達できる。

吉池旅館は大きく分けて3つの建物からなり、本館、池の棟、山荘で構成される。温泉はこのうちの山荘の地下1階にある。吉池旅館には広大な日本庭園もあり、見ごたえはたっぷりである。夏の特定の時期にはこの庭園で蛍も鑑賞できるらしい。その他、プール、ステーキハウスもある。

温泉は男性用大浴場、男性用露天風呂、女性用大浴場（露天風呂を含む）、貸切風呂（2部屋）に分かれている。

まずは男性用大浴場から紹介する。脱衣室には無料で使用できるロッカーが48個、洗面台が4個ある。

ドライヤーも具備されている。浴室は意外にシンプルだ。洗い場と大浴槽、洞窟風呂があるのみだ。洗い場は 12 か所あり、シャンプー、コンディショナー、ボディソープ、シェービングフォーム、洗顔フォームは具備している。大浴槽は 40~50 人は入れそうな大きさであり、一部が立ち湯になっている。洞窟風呂は定員 6~8 人くらいだ。いずれの浴槽も湯温はややぬるめとなっている。この浴室の最大の特徴としては、浴室全体がまるで農業用の温室のような屋根構造で、全面ガラス張りであることだ。このため、昼間は浴室が非常に明るい。また、観葉植物が豊富で、これらはおそらくはゴムの木である。尚、女性風呂には洞窟風呂の代わりに檜風呂があるらしい。

続いて露天風呂を紹介する。女性用は大浴場に露天風呂が具備されているが、男性用は別の場所にあるため、裸のままでは往来できない。男性用露天風呂の脱衣場所は籠があるのみで、ロッカーはない。露天風呂は岩風呂であり、平らな石が敷き詰められている。湯温は適温、定員は 30 人くらいであろうか。日本庭園に面しているので、景観が良い。

最後に貸切風呂を紹介する。部屋数は 2 個あり、家族 4 人で入るには十分な広さだ。浴槽が定員 2 人、洗い場が 2 個あり、脱いだ物を入れる棚は 4 段ある。脱衣室の内側から鍵をかけると、外側に入浴中との表示が出る仕組みになっているようだ。

ちなみに、吉池旅館の湯はナトリウム・カルシウムー塩化物泉（含塩化土類ー食塩泉、低張性弱アルカリ性高温泉）で、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、皮膚乾燥症などに効くという。

箱根には温泉宿が無数にある。まだまだ知らない箱根がそこかしこにありそうだ。

## DATA

名称	箱根湯本温泉 吉池旅館
所在地	神奈川県足柄下郡箱根町湯本 597
電話	0460-85-5711
営業時間	宿泊者は 14 : 00 ~ 翌朝 9 : 00 (男性用露天風呂と貸切風呂は 22 : 00 ~ 6 : 00 の間は利用不可)
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料 日帰り入浴は大人 2,250 円 (入浴料 2,200 円 + 入湯税 50 円) 小人 1,650 円 (2 歳 ~ 小学生、入浴料のみ、入湯税なし) 2 歳未満無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2021 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし

☆お☆ま☆け☆



箱根湯本の駅周辺には土産物屋が多数終結。練り物、干物、寄木細工、梅干しなどが名産品のようにある。また、食べ歩きにも最適。中でも、蕎麦は秀逸。上記左写真で紹介しているのは自然薯蕎麦が売りの「はつ花」。行列必至の有名店だ。そして、右写真は搾りたてのモンブランクリームが自慢のカフェ「浪漫亭」。写真で見ると小さく見えるが、実は結構な大きさのケーキである。